

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定
<p>(1) 生活習慣病対策</p>	<p>○ 胆江地域の脳血管疾患による年齢調整死亡率は、男女とも減少傾向にあります。県平均同様に全国と比べると差があるため、脳血管疾患対策について一層の取組が必要です。(図1、図2) また、がん対策についても関係機関、団体と連携して一層の取組が必要です。</p> <p>○ 特定健康診査の受診率は、やや増加傾向にあります。特定保健指導の実施率は、減少傾向のため、特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率の向上に向けて関係者が連携して取り組んでいくことが求められています。(図3、図4)</p> <p>○ 働き盛り年代の生活習慣病対策については、事業所が健康経営の観点からも主体的に取り組んでいけるよう支援していく必要があります。</p> <p>また、喫煙対策についても引き続き推進していく必要があります。</p> <p>○ 肥満傾向にある子どもの割合は、小学1年生、小学4年生、中学3年生、高校3年生ともおおそ県平均と同様ですが、中学1年生は県平均よりやや高くなっています。</p> <p>肥満は、循環器疾患等の生活習慣病等のリスク要因であり、若年期から肥満対策を推進していく必要があります。</p> <p>○ 健康づくりについて、関係機関・団体等と連携を図りながら、一次予防を中心に取り組んできましたが、二次予防、三次予防への行動変容を促す効果的な取組が求められています。</p>	<p>1 関係機関・団体との連携を図り、働き盛り年代や若年期を対象として、栄養・食生活改善、運動習慣の重要性に関する普及啓発を通じて、生活習慣病(脳血管疾患対策含む)対策を一層推進していきます。また、がん対策についても、関係機関、団体と連携して取り組んでいきます。</p> <p>2 特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率やがん検診受診率の向上等に向けて、関係者と連携を図り推進していきます。</p> <p>3 働き盛り年代の生活習慣病対策について、事業者が健康経営の観点から主体的に取り組んでいけるよう支援していくとともに、喫煙対策について、引き続き関係機関と連携して、禁煙啓発や受動喫煙対策等を推進していきます。</p> <p>4 子どもの肥満対策については、市町、学校、幼稚園等の関係機関、団体と連携を図り推進していきます。</p> <p>5 健康づくりの一次予防はもとより二次予防、三次予防についても関係機関・団体と連携を図り推進していきます。</p>	<p>【01 奥州医師会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 各種対策会議等への参画 各種がん検診(個別・集団検診)の受託 各種がん検診の内容協議 奥州市特定健康診査等の受託 社保等特定健康診査の受託 特定健康診査等の内容協議 糖尿病性腎症重症化予防指導及び受診勧奨事業の推進 学校保健活動の実施及び小児生活習慣病予防健診の推進 「奥州市眼科健診」の実施検討 「県立胆沢病院 心不全ハイリスク患者の早期発見へ向けた取り組み」実施に係る協力 <p>【03 奥州薬剤師会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 奥州市禁煙事業(加熱式タバコも含む)への協力(参加薬局18店で、21人が申込、16人が9店で利用。3ヶ月目禁煙達成者は6人で達成率37.5%)。 食べ物健康講座の実施 <p>【04 看護協会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 看護の日 各病院・施設ポスター展示、血圧測定、健康相談 老人月間 健康相談・体操等 まちの保健室 血圧測定・健康相談 奥州保健所ヘルスケアサポート会議出席 <p>【05 奥州病院】</p> <ol style="list-style-type: none"> がんの医療体制 ・急性期を終えられた患者及び緩和ケア目的の患者受入れの継続 脳卒中の医療体制 ・地域連携パス会議への参加 ・地域連携室間での連絡を密にし、速やかな患者受け入れの実施 急性心筋梗塞の医療体制 ・継続した患者受入れの実施 糖尿病の医療体制 ・専門医による糖尿病外来及び管理栄養士による栄養指導の継続 ・高齢化に伴う、送迎希望透析患者増に対応するため、送迎コースの拡充を実施 ・透析機器10台の増床を実施 	<p>記入不要</p>

図1 脳血管疾患年齢調整死亡率(男性)の年次別全国・県との比較

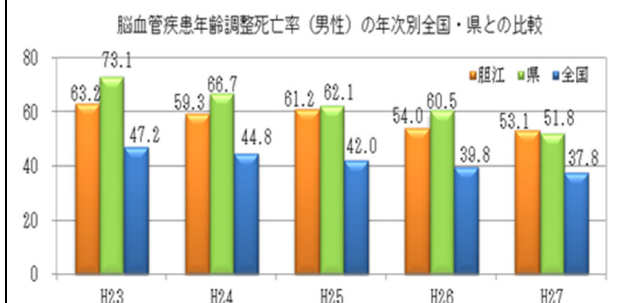


図2 脳血管疾患年齢調整死亡率(女性)の年次別全国・県との比較

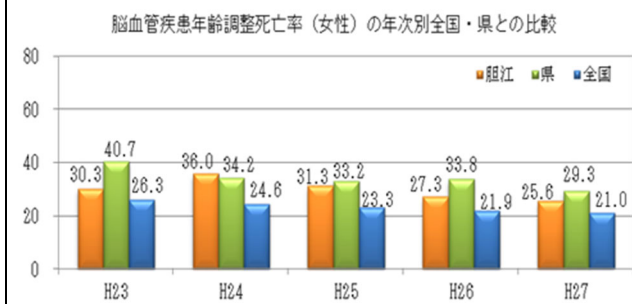


図3 特定健康診査受診率の年次別県との比較(市町村国保)

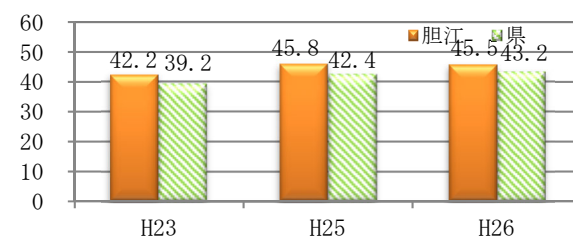


図4 特定保健指導実施率の年次別県との比較(市町村国保)

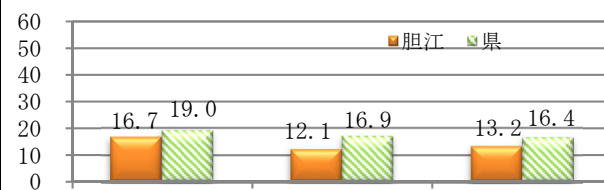
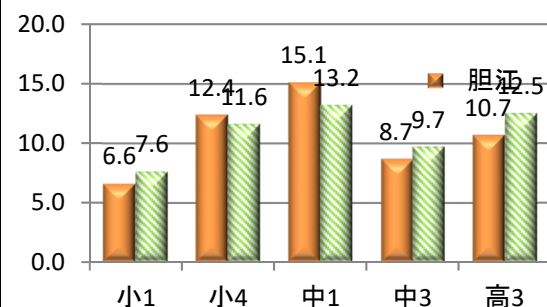


図5 肥満傾向にある子どもの割合の学年別県との比較



様式) 圏域における取組等状況調書 (様式 2)

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定
			<p>2 小児医療の体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続した各種予防接種事業の実施 <p>2 健康診断の体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続した特定健診及び企業健診の実施 <p>2 保健予防活動の体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続した高齢者インフルエンザ・肺炎球菌ワクチン予防接種の実施 <p>【07 石川病院】</p> <p>1 地域連携パス会議への出席</p> <p>1 他医療機関との連携</p> <p>1 がん予防、早期発見に対する職員の知識や対応の向上および他医療施設との連携</p> <p>2 特定検診・社保検診の実施と受診者への啓蒙</p> <p>2 乳幼児健診、予防注射、学校検診への協力</p> <p>3 産業医としてかかわる職場、地域で、生活習慣病への理解を深めるための講話や講習</p> <p>4 小児生活習慣病検診への協力</p> <p>【08 美山病院】</p> <p>1 脳卒中・大腿骨頸部骨折の医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性期医療機関との連携 (地域連携パス会議への参画) ・地域連携パス会議への出席 <p>1 出前講座</p> <p>1 がんの医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域がん登録事業への参画 ・緩和ケア治療の実施 ・緩和ケア認定看護師による講演及び緩和ケアの啓蒙活動 ・岩手県がん診療連携協議会会員登録 <p>1 食と健康まつりでの取組 (中止)</p> <p>1 生活習慣病への生活・栄養指導</p> <p>2 がん検診の受託</p> <p>5 令和5年度緩和ケア市民公開講座の開催 (中止)</p> <p>5 ホスピス緩和ケア週間の取組</p> <p>【09 美希病院】</p> <p>1 啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信イベント(新しい媒体の活用)の企画 ・専門の医療提供体制の維持による(糖尿外来、人工透析及び急性期医療機関との連携による治療の継続) ・奥州まえさわ健康フェスタへの参画 <p>2 各種健康診断・人間ドックの実施、特定健診、市健診の受入れ</p> <p>2 乳幼児健診</p> <p>3 産業医機能をいかした企業との連携</p> <p>4 保育園等と嘱託医との連携による健康管理実施</p>	

様式) 圏域における取組等状況調書 (様式 2)

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定
			<p>【10 胆沢病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 医療情報コーナーイベント (年 4 回開催) 1 健康講演会 (8 月開催) 3 生活習慣病健診の受入れ (年 184 人実施) 1 出前医療講演 (年 3 回開催) 1 地域のクリニックから心不全患者を早期に紹介してもらい、心不全の早期検査・診断の取組【新規】 <p>【11 江刺病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 市民健康公開講座の開催 (年 3 回開催 計 213 名参加) 1 手術を伴わない脳卒中患者の入院診療実施 1 脳卒中患者登録の継続 1 終末期医療について、希望者への在宅訪問診療実施 1 岩谷堂高校「がんの教育講演会」の講師派遣 1 奥州市主催「医療と介護のおきがる講座」の講師派遣 (計 7 回) 1 奥州市主催「65 歳からの生き方講座」の講師派遣 2 特定健康診査の実施 <p>【12 総合水沢病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 地域連携バス会議への参加、術後療養患者の受入れ →奥州地域連携バス会議 (年 3 回)、両磐地域連携バス会議 (年 3 回) いずれも多職種 (看護師、理学療法士、医療ソーシャルワーカー) で参加。連携バスに基づいた療養患者 13 名 (全て骨バス) 受入 1 循環器内科の外来診療応援体制の継続 (週 2 回) 1 糖尿病代謝内科外来の実施 ・専門医による診察の他、糖尿病療養指導士や管理栄養士による生活、栄養指導 →栄養指導 344 件 (うち入院 106 件、外来 238 件) 実施 1 がん診療体制の継続 ・急性期から終末期に至るまでの療養サポート →週 1 回診療科毎、医師毎に多職種カンファレンスを実施。療養状況など情報共有しながら、チームで必要な支援を行い療養生活をサポート 2 各種健 (検) 診やドック等の実施および拡充 (実施率前年度比 15% 増) ・人間ドック、各種健 (検) 診等の実施 ・奥州市特定長寿健診等の実施 ・乳幼児健診および学校健診への協力 ・各種予防接種の実施 4 小児生活習慣病予防検診の受託 小学校 4 年生 788 人 中学校 1 年生 872 人 ・二次検診を小児科で受け入れ <p>【13 まごころ病院】</p>	

様式) 圏域における取組等状況調書 (様式 2)

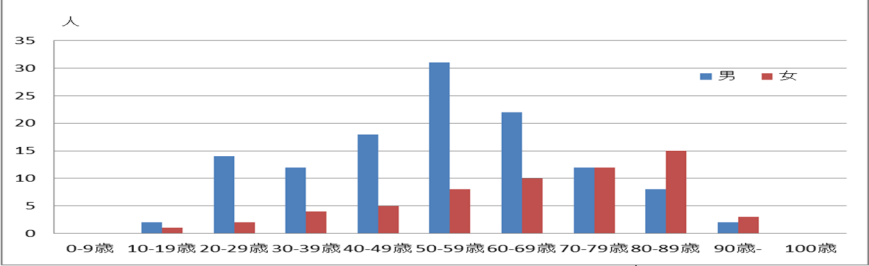
圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定
			<p>2 健診後における精密検査の実施及び生活指導</p> <p>1 地域連携バス会議への参加</p> <p>1 脳卒中患者登録</p> <p>1 地域の健康祭りでの生活習慣病予防の講演</p> <p>2 奥州市特定健診・長寿健診の受託実施</p> <p>2 特定保健指導の実施</p> <p>3 産業医としての生活習慣病予防の講演</p> <p>4 学校健診への協力</p> <p>【17 奥州市】</p> <p>1 母子保健連絡会 水沢、江刺、胆沢地域 1回/年</p> <p>1 食生活改善推進員による生活習慣病予防事業の実施 ・調理実習 7回 76人</p> <p>1 運動習慣動機づけ事業 ・特定健診受診者及び特定保健指導利用者に対し、市内6ヶ所の運動施設利用無料券を交付 ・施設利用者数 実人数 155人、延べ278人</p> <p>1 糖尿病性腎症重症化予防事業の実施 ・保健指導事業 対象者を特定し、概ね6ヶ月間の面談指導及び電話指導を実施。保健指導終了者 3人 ・健診異常値放置者及び治療中断者への受診勧奨事業通知者 健診異常値放置者 16人、治療中断者 21人</p> <p>1 生活習慣病重症化予防事業の実施 健診結果で要医療判定者のうち、未受診者及び治療中断者に対し、受診勧奨を実施 ・未治療者 勧奨通知発送 269人、受診勧奨後通院した者 57人 ・治療中断者 勧奨通知発送 126人、受診勧奨後通院した者 18人</p> <p>3 生活習慣病予防教室 ・男性コース 実施回数2回×2クール、実人数8人、延べ16人 ・女性コース 実施回数2回×2クール、実人数29人、延べ55人 ・追加教室 実施回数 1回、実人数9人、延べ9人</p> <p>1 出前健康講座 (通年) ・脳卒中予防 実施回数10回、参加者168人 ・食事について 実施回数3回、参加者39人 ・フレイル予防 実施回数16回、参加者236人</p> <p>2 特定健康診査、国保30代健康診査の実施 特定健康診査受診率 49.9% 国保30代健康診査受診率 21.9%</p> <p>2 特定健診等事後訪問等の実施 指導者数 110人</p> <p>2 特定保健指導の実施 対象者を特定し、概ね3ヶ月間の面談指導及び電話指導を実施 実施率 積極的支援 6.7%、動機付け支援</p>	

様式) 圏域における取組等状況調書 (様式 2)

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定
			<p>11.9%</p> <p>3 薬局と連携した個別禁煙支援事業の実施 参加者 16人、達成者数 6人、達成率 37.5%</p> <p>4 のびのび個別相談 (通年) 対象 3歳児健診で肥満度 15%以上の幼児 対象者数 46人、相談延べ 67人 (実人数 45人)</p> <p>【18 金ケ崎町】</p> <p>1 糖尿病性腎症重症化予防 ・血糖高値かつ未治療者への受診勧奨 (全員に家庭訪問) 及び保健指導</p> <p>1 高血圧重症化予防 特定健康診査の結果、血圧値が高いにも関わらず医療機関を受診していない者に対し、家庭訪問又は電話による受診勧奨を実施</p> <p>1 健幸ポイント ICTを活用した事業として実施</p> <p>1 健康増進事業 (通年)</p> <p>1 健康づくり推進業務委託 介護予防及び生活習慣病予防のための講話等の普及活動を実施 18回 委託先 金ケ崎町食生活改善推進員協議会</p> <p>1 健康づくり推進普及事業 前年度作成済レシピを広報、ホームページで周知</p> <p>1 食生活改善推進員養成講座 (隔年実施)</p> <p>1 出前講座 (随時)</p> <p>1 保健福祉センターだよりの発行 年 6回発行 (全戸配布)</p> <p>2 特定健康診査の実施 (6~7月、10月)</p> <p>2 特定保健指導の実施</p> <p>2 特定健康診査受診率向上対策 ・人間ドック費用助成事業 (1人当たり 10,000円) ・特定健診啓発 (受診券送付時、未受診者再通知) ・職場等で受けた健診結果等の提出推進</p> <p>5 金ケ崎診療所糖尿病教室通信の発行</p> <p>【19 奥州保健所】</p> <p>1 奥州地域ヘルスサポートネットワーク協議会 (R5.11.1 R6.3.27 年 2回開催)</p> <p>1 健康的な食事推進マスタースキルアップ研修 (R5.9.15 45人、R6.1.11 23人 年 2回開催)</p> <p>1 特定給食施設指導 (巡回指導 32施設、集団指導 2回実施)</p> <p>2 管内市町栄養改善担当者連絡会 (R5.6.26 開催)</p> <p>3 事業所への出前講座 (年 15回)</p> <p>4 学校保育給食施設への巡回指導 (29施設)</p> <p>5 スーパー等と連携した普及啓発 (通年)</p>	

様式) 圏域における取組等状況調書 (様式 2)

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定																				
<p>(2) 心の健康づくりとメンタルヘルス対策</p>	<p>○ 「平成 27 年労働安全衛生特別調査」(厚生労働省)によると全国でメンタルヘルスに取り組んでいる事業所の割合は、全体で 59.7% (平成 25 年調査 60.7%) となっており、前年度よりやや減少している状況にあります。また、平成 28 年度からストレスチェックが開始され、更なる支援が求められています。</p> <p>○ 胆江地域でのこころの相談件数は、年々増加傾向にあります(表 1)。人材養成や相談体制の確保充実について取り組んでいく必要があります。</p> <p>表 1 胆江地域のこころの相談件数(年度:電話・面接相談、家庭訪問 延数)</p> <table border="1" data-bbox="365 825 899 930"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>117</td> <td>172</td> <td>257</td> <td>448</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 圏域内には、精神科を標榜する病院は 1 か所、診療所 1 か所のみであり、休日・夜間においても適正な精神科医療が受けられるよう、地域の関係者の理解と連携を図るなどして整備していくことが必要です。</p> <p>○ 精神保健福祉法に基づく胆江地域における警察官通報等の件数は、年々増加傾向にあり、人的体制や職員の資質の向上を図っていくことが必要です。(表 2)</p> <p>表 2 胆江地域における警察官通報等対応件数(年度:延数)</p> <table border="1" data-bbox="388 1314 958 1407"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>22</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 胆江地域では、自殺死亡者数が 1 番多かった平成 15 年の 64 人以降、死亡率は減少傾向にありますが、平成 27 年は 29 人となっています。(人口動態統計より)なお、50 歳代の働き盛りの男性、また、女性は高齢者の自殺者数が多くなっていることから、働き盛り年代の男性や高齢女性をターゲットにした取組みを進める必要があります。</p>	年度	H25	H26	H27	H28	件数	117	172	257	448	年度	H25	H26	H27	H28	件数	8	4	22	33	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業所等のメンタルヘルス対策について、関係機関・団体と連携して推進していきます。 2 休日・夜間等も身近なところで精神科医療機関の受診ができるよう、関係機関・団体と連携し精神科医療体制の整備に取り組んでいきます。 3 警察官等通報に適切かつ円滑に対応できるよう、人的体制や職員等の資質の向上等に努めます。 4 50 歳代の働き盛りの男性、また、女性は高齢者の自殺者数が多くなっていることから、事業所への出前講座や、関係機関・団体と連携し高齢女性をターゲットにした取組を進めていきます。 5 精神科病院に入院されている方が、住み慣れた地域で生活していけるよう、地域移行(退院)に向けて関係機関・団体等と連携して支援を推進します。 	<p>【01 奥州医師会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 産業医によるメンタルヘルス対策の実施 2 各種対策会議等への参画 <p>【03 奥州薬剤師会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 薬の相談窓口の充実と心の相談窓口への紹介 1 岩手県自殺予防週間に広告ポスターの掲示とリーフレット、チラシを配布 5 新規の抗うつ薬処方患者や抗うつ薬の薬変時に十分な服薬指導、処方日数と来院日、薬局来店日が一致しない患者に対し、残薬を確認 <p>【04 看護協会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 岩手県看護協会研修会への参加 8 月新型コロナウイルス感染対策研修 10 月メンタルヘルスケア講演会 11 月高齢者施設への出前出張 <p>【05 奥州病院】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 精神疾患の医療体制 <ul style="list-style-type: none"> ・軽度なうつ、認知症の診断及び内服治療の実施及び専門医療機関との連携強化 4 事業所内での体制 <ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックの実施 ・必要に応じ、産業医との面談を実施 <p>【06 おとめがわ病院】</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 企業従業員での講演 5 家族のうつ病研修会での講演 <p>【07 石川病院】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 メンタルヘルスへの理解を深めるための院内職員講習 1 職員のメンタルヘルス対策の充実 1 産業医としてかかわる職場でのメンタルヘルス向上 4 高齢者及び認知症における精神疾患について理解を深め、連携を図る。 <p>【08 美山病院】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 精神科専門医への紹介及び連携 1 職場内でのストレスチェックを実施 1 非常勤精神科医師の体制維持 1 心の健康相談 1 メンタルヘルス研修 <p>【09 美希病院】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 職場内での体制 <ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックの実施、心の健康相談窓口の定着 2 非常勤精神科医師の採用(体制維持) 	
年度	H25	H26	H27	H28																				
件数	117	172	257	448																				
年度	H25	H26	H27	H28																				
件数	8	4	22	33																				

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定
	<p>図1 奥州保健所 10歳年齢階級別・性別自殺死亡数 H22年～26年合計</p>  <p>○ 岩手県が平成 29 年 6 月に実施した精神科病院入院者を対象とした地域生活移行意向希望調査によると、県全体では 150 人、うち胆江地域の移行希望者は 14 人となり退院に向けての関係機関等と一体となった支援が必要です。</p>		<p>2 うつ症状や認知症上の診断と対応やスタッフ教育の実施</p> <p>3 警察署 OB の採用による体制の整備</p> <p>4 1 と同じ</p> <p>【10 胆沢病院】</p> <p>1 胆江地域心の健康づくり対策担当者等連絡会への参加</p> <p>【11 江刺病院】</p> <p>2 医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症患者の入院受入れ <p>4 職場として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックの実施 ・職員の希望者等に産業カウンセラーによる出張カウンセリングの実施 <p>【12 総合水沢病院】</p> <p>4 WLB 推進ワークショップインデックス調査の実施</p> <p>4 ストレスチェックの実施</p> <p>1 胆江地域心の健康づくり対策担当者等連絡会への参加</p> <p>→参加機関と情報共有、情報交換を行った。</p> <p>5 精神科疾患の診断・治療</p> <p>5 認知症患者の入院受入れ、入退院支援</p> <p>5 精神科訪問看護の実施</p> <p>【13 まごころ病院】</p> <p>1 職場でのストレスチェックの実施</p> <p>1 産業医として関わる職場でのメンタルヘルズ相談</p> <p>2 認知症患者の受入れ</p> <p>4 地域住民への医療相談対応</p> <p>【14 奥州市社会福祉協議会】</p> <p>1 「くらしとこころの総合相談会」の開催 (年 4 回)</p> <p>全 4 回開催 相談数 215 件【法律 29 件、相続 61 件、子育て 4 件、高齢者・介護 17 件、障がい 8 件、こころとからだ 20 件、仕事 10 件、財産管理 13 件、お墓 30 件、生活全般 23 件】</p> <p>2 CSW (福祉活動専門員) による地区センターでの心配ごと相談 (福祉なんでも相談) の開設 (年 60 回)</p> <p>開設日数 60 日</p> <p>取扱件数 14 件 (くらしのお金 1 件、家屋 1 件、家族 4 件、高齢者福祉 1 件、障がい者福祉 1 件、健康・病気 2 件、地域・近隣 1 件、その他 3 件)</p> <p>【15 金ヶ崎町社会福祉協議会】</p> <p>1 「ふれあい福祉総合相談」の実施 (年 12 日)</p> <p>2 「胆江地区心の健康づくり対策担当者連絡協議会」への</p>	

様式) 圏域における取組等状況調書 (様式 2)

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定
			<p>出席 (奥州保健所)</p> <p>2 「胆江地区自殺対策推進連絡会議」への出席 (奥州保健所)</p> <p>2 「ひきこもり公開講座・支援者研修会」受講 (岩手県精神保健福祉センター)</p> <p>【16 胆江地区介護支援専門員連絡協議会】</p> <p>4 県協会、保健所、警察等からの協会依頼、研修会は今後も出来るだけ会員に周知し、また他団体のメンタルヘルス情報、研修会も周知し参加を要請した。</p> <p>【17 奥州市】</p> <p>1 妊産婦メンタルヘルス事業 (通年) 妊婦 0 件、産婦 601 件 (要フォロー161 件)</p> <p>1 産後ケア事業 (通年) 宿泊ケア 27 人 (延人数 33 人)、日帰りケア 76 人 (延人数 248 人)、訪問ケア 67 人 (延人数 208 人)</p> <p>1 思春期保健 (保健師) 講話 市内高等学校 8 校 21 回 743 人 市内中学校 1 校 6 回 203 人</p> <p>1 思春期保健連絡会 年 1 回 参加者数 50 人</p> <p>1 中学生のための命の大切さを考える講演会 開催校 4 校、参加者 745 人</p> <p>1 中学生への心の健康づくりリーフレット配布事業 中学 1 年生 配布数 954 人</p> <p>1 心といのちの大切さを考える講演会 開催回数 1 回、参加者数 110 人</p> <p>1 心の健康づくり講演会・教室 実施回数 4 回、参加者 151 人</p> <p>4 50 歳のこころの健康度チェック事業 [男性]対象者数 814 人、返信者数 167 人(返信率 20.5%) 要フォロー者 49 人 [胆沢地区の女性] 対象者数 99 人、返信者数 20 人 (返信率 20.2%) 要フォロー者 4 人</p> <p>4 ゲートキーパー養成研修 実施回数 43 回、参加者 623 人</p> <p>4 出前健康講座「こころと健康を保つために」、「今日からできる心の健康づくり」 (通年) 実施回数 21 回、参加者 453 人</p> <p>4 高齢者通いの場における健康講話 (通年) 実施回数 25 回、参加者 254 人</p> <p>1 「心いきいきだより」の発行及び全戸配布 発行回数 年 2 回 (5 月、10 月)</p> <p>1 パンフレット・相談窓口一覧表「気づいてください心のサイン」の作成及び全戸配布、窓口配置、乳幼児健診等での配布</p> <p>1 「奥州市心いきいきラジオ」の放送 (9 月) 放送回数 4 回</p>	

様式) 圏域における取組等状況調書 (様式 2)

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定
			<p>【18 金ケ崎町】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 妊産婦メンタルヘルス事業 (通年) 1 産後ケア事業 (通年) 1 自殺対策推進協議会 (年 3 回) 4 ゲートキーパー養成講座 1 中学生向け「SOS の出し方」講演会 4 メンタルヘルス相談 (年 15 回) 4 啓発リーフレットの全戸配布 (3 月) <p>【19 奥州保健所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 胆江地域心の健康づくり対策推進連絡会議の開催 (R6. 2. 27 開催) 1 胆江地域心の健康づくり対策保健医療福祉関係者研修会の開催 (R5. 11. 21 開催) 1 市町自殺対策事業担当者連絡会の開催 (年 3 回) 1 自殺予防月間 (9 月) 医療機関やスーパー等にポスター掲示、チラシの配架 1 自殺対策強化月間 (3 月) 関係機関におけるポスター掲示等 1 精神科医師による精神保健福祉相談 (年 7 回) 1 保健師による相談 (面接 76 回・電話 358 回)、訪問 74 回 2 胆江地域「かかりつけ医と精神科医のうつ病連携システム」の再検討 3 関係機関と連携したハイリスク者への支援 精神保健担当者連絡会 (年 1 回) 4 事業所出前講座 (年 10 回)、事業所訪問 (年 5 回) 4 自死遺族交流会 (こころサロン奥州) の開催 (年 6 回) 5 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の準備 	

様式) 圏域における取組等状況調書 (様式 2)

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定
<p>(3) 医療連携体制の推進と体制づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 効率的で質の高い医療提供体制を構築するため、地域医療構想で定める病床機能ごとの必要病床数と毎年度報告される病床機能報告による病床数を比較し、医療関係者の協議を通じた自主的取組による病床機能の分化と連携等を推進する必要があります。 ○ 急速に進む高齢化による在宅医療の需要増加や医療・看護等に対するニーズの多様化に対応するため、関係機関と連携を図りながら医師、看護師等の医療従事者の人材育成・確保に取り組んでいく必要があります。 ○ 地域包括ケアシステム構築のため、医療、介護等の多職種が協働できる連携体制づくりの支援、人材育成などを進める必要があります。 ○ 在宅医療に関する住民の理解を深めるとともに、在宅医療を担う医療機関、訪問看護などの確保充実を図り、医療・介護関係者の連携を進める必要があります。 ○ 分娩を取り扱う病院がなく、診療所では医師の高齢化による負担も多いことから産婦人科、助産師の確保はもとより、分娩リスクに応じた医療機関の機能分担と連携等、適切な医療提供体制の確保充実に取り組んでいく必要があります。(分娩取扱医療機関数：病院0、診療所4) ○ 認知症は早期診断・治療が重要であることから、認知症に対する正しい理解の促進と認知症の人の家族に対する医療や介護等の支援の充実を図る必要があります。 ○ 小児救急における適正な受診行動に関する普及啓発及び小児医療機関が病状に応じた適切な小児医療を提携できる体制を整備する必要があります。 ○ 新型インフルエンザの発生等、感染を想定した関係機関、団体との医療連携体制の構築に取り組んでいくことが必要です。 ○ 災害時においては、災害医療関係機関、団体との情報共有、連絡体制の整備等が必要であることから、災害医療コーディネート体制の強化等について充実させていく必要があります。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 胆江圏域地域医療連携会議(圏域連携会議・地域医療構想調整会議)を開催するなどし、限られた医療資源のもとで、医療機関の役割分担と連携の構築に取り組みます。 2 中学生や高校生を対象とした医療職進路選択セミナーを開催するなどし、医師、看護師等医療従事者などの人材育成・確保に取り組んでいきます。 3 市町の地域包括ケアシステム構築に係る支援に、関係機関、団体との連携を図り、取り組んでいきます。 4 在宅医療に関する住民の理解を深めるとともに、在宅医療を担う医療機関、訪問看護などの確保充実を図り、医療・介護関係者の連携推進に取り組んでいきます。 5 妊娠と出産に対する妊婦の不安が軽減できるよう、リスクに応じた役割分担と周産期医療体制の維持のため、県において岩手中部・胆江・両磐周産期医療圏の連絡調整会議等を開催するなどし、地域周産期母子医療センター等医療関係機関との連携体制の構築に取り組んでいきます。 6 認知症の人やその家族等が地域で安心して暮らせるよう、関係機関及び認知症サポート医と連携し、住民に対する認知症の正しい知識や理解に向けた普及・啓発に取り組んでいきます。 7 市町村等と連携し、小児救急医療に関する知識や医療の適正受診に関する普及・啓発を行い、医師会、小児地域医療センター等、医療関係機関との連携の構築に取り組んでいきます。 8 感染症発生時の医療体制を確保するため、病院・消防・関係機関による感染症対策会議の開催や発生を想定した患者の搬送・受入れ訓練を実施するなどして、発生時の危機管理体制の構築に取り組んでいきます。 9 胆江地域災害医療対策連絡会議により災害医療体制の協議を進め、病院・消防・関係団体及び災害医療コーディネーターによる災害医療訓練実施、関係機関との連携強化に取り組んでいきます。 	<p>【01 奥州医師会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各種対策会議等への参画 1 奥州金ヶ崎休日診療所・夜間診療所の開設に係る協力、医師派遣 3 多職種連携システム「メディカルケアステーション(MCS)」構築への協力 4 在宅医療に係る連携体制の検討 9 災害時の連絡体制の構築 <p>【02 奥州歯科医師会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 がん医科歯科連携 1 胆沢・江刺病院 NST 回診参加 1 NST 回診に関する研修会開催 1 入院患者の緊急時対応マニュアルの作成 1 江刺区地域医療福祉懇話会への参加 3 介護支援専門員(ケアマネ)協議会との連携 3 奥州市地域包括支援センター運営協議会参加 3 奥州市地域ケア推進会議参加 3 介護支援専門員(ケアマネ)協議会との作業部会 3 障害児者及び要介護高齢者等歯科保健サービス提供事業(歯科健診及び口腔ケア、施設職員への研修及び実地指導) 3 障害児者に対する歯科対応の検討 3 障害児者施設との協議会 8 感染症対策会議の開催 8 生物安全実践講習会への参加 <p>【03 奥州薬剤師会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 胆江地域医療連携会議、奥州市在宅医療・介護連携推進協議会、奥州市地域包括支援センター運営協議会、奥州市認知症になっても安心まちづくり連絡会、胆江圏域感染症対策連絡協議会等への参画 3 推進に向けたスキルアップのため、保健所等関連団体主催の研修会に参加 3 奥州市自立支援型地域ケア会議において、聴講希望薬局を募集し情報を共有 <p>【04 看護協会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 ふれあい看護体験 4 ナースセンター無料紹介事業の実施(地域との関係会議出席) 1 岩手県奥州保健所運営会議 1 胆江圏域地域医療連携会議 3 奥州市地域ケア推進会議・地域包括支援センター運営会議 4 胆江圏域在宅医療介護連携推進協議会 4 奥州市自立支援型地域ケア会議 	

様式) 圏域における取組等状況調書 (様式 2)

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定
			<p>8 胆江圏域感染症対策連絡会議 〈看護協会研修会への参加〉</p> <p>4 訪問看護・医療機関相互研修</p> <p>5 助産師・スキルアップ研修 (5回)</p> <p>5 保険師スキルアップ研修 (2回)</p> <p>6 外来看護師と地域連携、入退院支援 (2回)</p> <p>6 認知症研修 (2回)</p> <p>6 小規模施設等看護職員研修 (3会場)</p> <p>8 感染防止策 (2回)</p> <p>9 災害看護 (4回)</p> <p>【05 奥州病院】</p> <p>1 救急医療の体制 ・急性期医療機関及び救急隊との連携強化</p> <p>1 へき地の医療体制 ・医師及び看護師、ドライバーの派遣の継続</p> <p>4 在宅医療の体制 ・訪問診療の更なる体制整備及び関連機関との連携強化 ・受入先及び退院先としての居住系介護施設との協力医療機関体制の締結 ・訪問診療の実施、地域包括ケア病棟の整備、通所リハビリ、訪問リハビリの実施等により、患者が安心して在宅での療養ができる環境を提供</p> <p>8 感染症発生時の体制 ・マニュアルの整備及び保健所との連携強化 ・会議への参画及び訓練への協力の継続 ・新型コロナウイルス感染症に関する会議への参画並びに市、保健所、医師会、圏域内医療機関との連携 ・新型コロナウイルス感染症に対する院内の感染防止対策の継続及び職員の健康管理等、病院継続計画の策定</p> <p>9 災害時における医療体制 ・災害に関連する会議及び訓練への参加 ・災害時に対応できる職員の育成 ・災害時のマニュアル及びライフライン、備蓄品の整備</p> <p>【06 おとめがわ病院】</p> <p>6 認知症多職種連携セミナーの開催</p> <p>6 認知症介護者家族交流会での講演</p> <p>【07 石川病院】</p> <p>1 胆江圏域地域医療連携会議への参加 地域包括システムや会議への参加</p> <p>3 地域包括ケアシステムへの参加。訪問診療の実施</p> <p>4 在宅医療への取組</p> <p>6 認知症サポート医との連携 入院又は通院の認知症を有する方の QOL 改善のため、ケアマネージャー、介護施設の担当者とのカンファレンス等で連携を深める。</p>	

様式) 圏域における取組等状況調書 (様式 2)

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定
			<p>7 小児救急医療に関する講演会等への参加</p> <p>8 医療圏の感染防止合同カンファレンスへの参加 感染対策 (コロナウィルス感染等) 地域医療圏の会議への参加 院内での予防、対応について、感染の状況に応じ対策が速やかに講じられるよう、院内での会議や連絡を充実する。(院内での感染予防)</p> <p>9 EMIS への参加、災害マニュアルの充実、災害看護研修</p> <p>【08 美山病院】</p> <p>8 奥州市感染管理ネットワークへの参加</p> <p>1 胆江医療圏地域医療連携会議への参加</p> <p>2 インターンシップ、職場体験、ふれあい看護体験の受入れ</p> <p>2 サマーセミナーの受入れ</p> <p>2 一関修紅高等学校看護進学コースの実習受入れ</p> <p>2 水沢学苑看護専門学校の実習受入れ</p> <p>2 岩手保健医療大学の実習受入れ</p> <p>2 岩手医科大学医学生の医療体験、医療実習受入れ</p> <p>4 地域医療福祉連携室の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者サポートの充実 ・在宅サービス資源及び老人福祉施設との連携 <p>4 介護予防事業への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業のリハビリスタッフの派遣依頼へ協力 <p>6 認知症サポート医との連携</p> <p>8 感染症発生時の医療体制と連携</p> <p>9 災害時における医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害訓練の実施 ・災害看護研修受講 <p>【09 美希病院】</p> <p>1 急性期病院との連携</p> <p>1 各種連携協議会、会議等への出席</p> <p>2 職場体験実習の受入れ</p> <p>3 地域リハビリテーション広域支援センター事業 (支援センターの受託) による、市町村介護予防事業の支援</p> <p>3 連携懇話会の開催による連携による意見交換</p> <p>4 地域連携室と在宅サービス資源及び老人福祉施設との連携</p> <p>8 感染症等対策会議への参加と連携</p> <p>9 災害避難訓練の実施</p> <p>【10 胆沢病院】</p> <p>1 胆江地域県立病院運営協議会の開催 (7 月開催)</p> <p>1 胆沢病院地域医療支援委員会の開催 (年 4 回開催)</p> <p>1 奥州地域病診連携症例検討会の開催 (年 3 回開催)</p> <p>1 奥州地域吸入療法研究会の開催 (年 1 回開催)</p> <p>1 連携医療機関への訪問</p>	

様式) 圏域における取組等状況調書 (様式 2)

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定
			<p>2 高校生等インターシップの受入れ (5名受入)</p> <p>9 胆江地域災害医療実地訓練への参加 (衛星電話通信訓練)</p> <p>【11 江刺病院】</p> <p>1 急性期病院である胆沢病院及び中部病院との連携 (手術が必要な患者の紹介等)</p> <p>1 奥州 (江刺) 歯科医師会と連携し入院患者回診実施</p> <p>1 胆江圏域地域医療連携会議等への参加</p> <p>2 水沢学苑看護専門学校の実習受入れ</p> <p>2 岩谷堂高校の見学受入れ</p> <p>2 ふれあい看護体験の受入れ</p> <p>3 退院調整看護師の専任配置によるスムーズな退院体制の強化</p> <p>4 地域医療福祉連携室の体制強化 (MSWの常勤化)</p> <p>4 奥州市江刺地域医療福祉連携懇話会世話人会の活動の推進及び研修会の開催 (研修会年4回 308名参加)</p> <p>4 終末期患者等で在宅医療を希望の患者に訪問診療実施</p> <p>4 メディカルショートステイの導入準備及び実施</p> <p>6 医師は認知症サポート医養成研修、看護師は認知症高齢者の看護実践に必要な研修の計画的な受講</p> <p>7 小児科の週1回の北上済生会病院応援医師による外来診療実施</p> <p>9 胆江地域災害医療実地訓練参加 (衛星電話通信訓練)</p> <p>【12 総合水沢病院】</p> <p>1 胆江圏域地域医療連携会議 出席</p> <p>2 医療進路選択セミナー受入れ</p> <p>2 就職説明会参加</p> <p>2 水沢看護学苑看護専門学校の実習受入れ</p> <p>2 ふれあい看護体験受入れ</p> <p>3 随時、病院見学会を開催</p> <p>3 医療、介護、障がいに関する各種連携関係会議への参加</p> <p>3 奥州市水沢小地域ケア会議に参加</p> <p>3 連携機関との情報共有</p> <p>4 訪問診療による在宅支援の実施</p> <p>4 訪問看護ステーションによる在宅支援の実施</p> <p>・土日祝日も対応し医療依存度が高い療養者支援・看取り</p> <p>・看護学生等実習受け入れによる人材育成</p> <p>4 コミュニティサポート研修会の開催</p> <p>4 胆江医療圏地域医療連携室実務者連絡会でMCSを活用し、情報共有</p> <p>4 レスパイト入院の実施 (医療依存度が高い介護分野と連携しながら地域生活を継続する取組)</p> <p>5 産後ケア事業の実施</p> <p>6 神経内科の外来診療応援体制の継続 (週1回)</p> <p>6 認知症院内研修会の開催</p> <p>6 医療、介護、福祉連携機関との情報共有</p>	

様式) 圏域における取組等状況調書 (様式 2)

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定
			<p>8 胆江圏域感染対策連絡会議 出席</p> <p>8 感染症発生時の医療体制の構築・医療連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ PCR 検査実施 ・新型コロナ入院患者の受入れ ・発熱外来の運営 ・新型コロナワクチン接種 <p>9 災害医療体制連携強化</p> <p>災害訓練参加 (胆江地区地域災害医療対策連携会議)</p> <p>DMAT 隊員災害訓練参加</p> <p>看護協会災害支援ナース制度登録及び登録者への勤務体制整備</p> <p>【13 まごころ病院】</p> <p>1 胆江圏域地域医療連携会議出席</p> <p>2 中高生への看護体験</p> <p>2 看護師や薬剤師等の学生に係る実務実習の受入れ</p> <p>3 奥州市胆沢小地域ケア会議への参加</p> <p>8 胆江圏域感染対策連絡会議への出席</p> <p>3 医療、介護、福祉連携機関との情報共有</p> <p>3 達者の里連絡会議 (医療・保健・福祉の連携会議) の定期開催</p> <p>3 医療・保健・福祉従事者合同の研究発表会の開催</p> <p>4 訪問診療、訪問歯科診療による在宅支援</p> <p>4 訪問看護、訪問リハビリによる在宅支援</p> <p>4 レスパイト入院の実施 (医療依存度が高い介護分野と連携しながら地域生活を継続する取組)</p> <p>6 認知症院内研修会</p> <p>8 感染症対策会議</p> <p>8 感染症発生時の医療体制構築</p> <p>(新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種実施、発熱外来の運営、5類以降に伴う患者受入れ)</p> <p>【15 金ヶ崎町社会福祉協議会】</p> <p>9 災害時の連携・協働のあり方を確認し、有事の際の関係機関及び団体との連携が円滑に実施できるようにネットワークを構築するため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域市町村ネットワーク連絡会議の開催 ・災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練 (奥州金ヶ崎広域社協連絡協議会主催) <p>【16 胆江地区介護支援専門員連絡協議会】</p> <p>4 今後も医療連携体制を考慮しながら令和6年度の介護保険制度改正 (BCP、自立支援、適切なケアマネジメント手法等) に向けた準備の1年として学びを深め、施設ケアマネも含めた研修会を開催できた。</p> <p>【17 奥州市】</p> <p>1 病院群輪番制病院運営費補助</p>	

様式) 圏域における取組等状況調書 (様式 2)

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定
			<ul style="list-style-type: none"> 1 私的二次救急医療機関等補助 2 医療介護従事者等奨学金返済支援補助金 2 医療介護従事者等修学資金貸付事業 3 奥州市医療・介護資源情報提供サービスの活用促進 3 メディカル・ケア・ステーション (通称: MCS) の活用促進 3 入退院時情報共有シートの活用促進 3 医療・介護連携にかかる多職種連携研修会の開催 3 胆江地域メディカルコントロール協議会と連携し「DNARプロトコール」の普及啓発 3 ACP (アドバンス・ケア・プランニング) の普及啓発 3 医療と介護のおきがる講座 3 わたしの生き方ノート出前講座 4 奥州市在宅医療介護連携推進協議会の開催 (年1回) 5 産後ケアの実施 (通年) 宿泊ケア 27人 (延人数 33人)、日帰りケア 76人 (延人数 248人)、訪問ケア (延人数 208人) 5 妊産婦タクシー助成券交付事業の実施 交付部数 474部 使用人数 おでかけ支援タクシー 168人、出産等支援タクシー 122人 5 妊産婦応援給付金支給事業 申請件数 1件 5 妊婦宿泊費助成金 給付人数 妊婦 469人、産婦 432人 5 出産・子育て寄り添い支援事業 給付人数 出産寄り添い支援金 450人、子育て寄り添い支援金 414人 6 奥州市認知症になっても安心まちづくり連絡会の開催 (年2回) 6 認知症サポーター養成講座の実施 6 認知症等支援者相談会 (年2回) 6 認知症初期集中支援推進事業の実施 (年4回) 6 「情報提供書 (もの忘れ等相談連絡票)」の周知と活用 6 認知症カフェの開催 (月9回) 委託型包括8箇所 6 オレンジノート (個人版認知症ケアパス) の配布と活用 6 認知症ケアパス (ダイジェスト版) の配布と活用 6 奥州市はいかい SOS ネットワーク事業 6 認知症啓発企画展の開催 (9月 アルツハイマー月間) 6 認知症講演会の開催 6 地域サロン、一般介護予防事業「よさってくらぶ」、家族介護教室等での認知症の普及啓発 6 奥州市認知症支援ぬくもり隊 (ボランティア) 活動支援 6 認知症サポーターステップアップ講座の実施 6 チームオレンジの立ち上げ支援 <p>【18金ヶ崎町】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4 訪問診療の実施 4 訪問歯科診療の実施 	

様式) 圏域における取組等状況調書 (様式 2)

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定
			<p>4 訪問看護の実施</p> <p>5 産前サポート・産後ケア事業 (通年)</p> <p>6 認知症高齢者見守り事業 出前講座 認知症サポーター養成講座 金ケ崎町地域見守りネットワーク連絡会 (6月) 金ケ崎町徘徊 SOS ネットワーク (どこシル伝言板併用) 認知症啓発企画展</p> <p>6 認知症初期集中支援チーム検討委員会</p> <p>6 認知症初期集中支援チーム員会議</p> <p>6 オレンジ相談会 (認知症個別相談会)</p> <p>【19 奥州保健所】</p> <p>1 胆江圏域の医療機関の病床機能の分化と連携を図るため胆江圏域地域医療連携会議を開催し (年3回)、諸課題を協議した。</p> <p>3 地域・医療・介護に係る食生活支援連携研修会 在宅療養者の食生活支援関係者を対象に介護食の基本や介護予防技術のスキルアップ向上及び多職種連携に向けた研修 (R5.9.6開催)</p> <p>5 周産期医療関係について、奥州市主催の「胆江圏域周産期医療に係る産婦人科医との連絡会」、県医療政策室主催の「岩手中部・胆江・両磐周産期医療圏連絡会議」に参加し、妊婦緊急時の受診体制について、関係機関と情報共有を行い、今後の対応を協議した。</p> <p>5 妊産婦のメンタルヘルスケア連絡会・研修会 (R6.2.3開催)</p> <p>8 新興感染症に対応するため、医療機関の受入れ等の体制整備や実地訓練などを実施 ○感染症対策会議の開催 ・感染症対策連絡会議：(R5.4.24開催) ・新型コロナウイルス感染症等に係る関係機関WEB会議 (年44回) ・感染症対策実地訓練・研修などの実施：7回</p> <p>1 ロジックモデルの研修会の実施</p> <p>1 医療・介護・保健連携体制の再構築、強化</p> <p>9 災害医療関係について、R6年2月に奥州保健所と県立胆沢病院、県立江刺病院、総合水沢病院、奥州病院との衛星電話による通話訓練を実施し、万一の事態のため確認を行った。</p>	

